



令和5年10月号 Vol.69  
情報メディア教育センター

## 「キジバト」

我が家の庭の木にキジバトが巣をつくった。  
ここんとこツガイで庭をさんぼする姿をよく見かけてはいたんだけど、巣作りによさそうな木を探してたんだけー。  
餌でも取りに行くのか、できたての巣から出たり入ったりバタバタと結構忙しそうにしている。

「うまいことつくったなー」と感心して巣を眺めていると、あちらも「なんか用？」とばかりにジーとこっちを見てくる。

「ようやく秋がやってきたね。」



## やっぱ映画館がいいな。最近見た映画 2 本



ありふれた日々

### 「アイスクリーム フィーバー」

監督：千原徹也 出演：吉岡里帆、モトロー世理奈、詩雨、松本まりか、他

上質で芸術性の高い映画が楽しめるミニシアター。名古屋の「センチュリーシネマ」はそんな映画館です。入口から受付、売店、カウンターに至るまで昔ながらの造り。学生の頃、足繁く通った映画館にちょっと感じが似てるかな。(当時の映画は2〜3本立てが当たり前で、おまけに自由席だった。つまり一日中映画館にいて何回でも観ることができたんですよ。

よっぽどヒマだったんですね。)

さてこちらで観たのが「アイスクリームフィーバー」。原案は川上未映子さんの「アイスクリーム熱」です。仕事や恋、家族に悩む女性たちの日常が美しい映像で描かれていました。監督がアートディレクターということもあって、さりげない風景

も、人物も絵画の様でした。特にモトロー世理奈、なんか雰囲気のある俳優さんですね。エンディングの「春にして君を想う」を聞きながら心地よい余韻に浸る。そういえばイケメンひとりも出てこなかったな。



### 「君たちはどう生きるか」

監督：宮崎 駿 声の出演：真人/山時聡真 青サギ・サギ男/菅田将暉、他

事前情報全くなしという異例のジブリ。タイトルは監督の愛読書、吉野源三郎著の『君たちはどう生きるか』から借りたということです。実はこの本、私にとっても中学生の時に会って以来、幾度となく読み返している愛読書。どんな映画になっているのか、ずーっと気になっていたので「シネマズ 109」で観ることに。休日でしたが空いていましたよ。いつものようにコーヒーを買って、座席はお決まりの最後部の中央寄りに陣取った。

ざっとしたあらすじ…東京を離れて「<sup>あおさぎ</sup>青鷺屋敷」と呼ばれる屋敷に疎開した主人公・<sup>まひと</sup>真人が亡き母の妹で新しい母となった夏子と出会い、やがて不思議な世界にいざなわれていく…。

バディ役はポスターにもなっていた青サギ。いじわるだけど、なかなか頼りがいのあるいいヤツでした。ジブリ映画によく出てくる小さい生き物集団、今回は

「生と死の象徴：ワラワラ」。とにかくこれまでのジブリ映画のモチーフ満載だったのでジブリ好きには楽しめるのでは。(大塚)





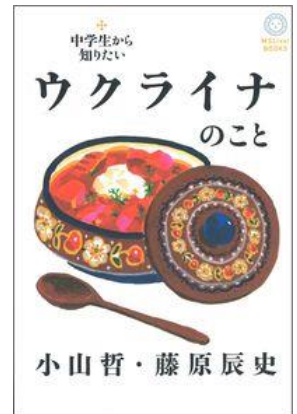
# 新着図書ピックアップ



## 『中学生から知りたい ウクライナのこと』

小山哲, 藤原辰史【著】 ミシマ社 2022/06

著者は、歴史学者のお二人です。ネットやメディアで伝えられていることだけでなく本当のウクライナを伝えたい、子供から大人には学びなおして読んでほしいという思いで書かれたそうです。入り混じった国々の歴史的な移り変わりが地図でも分かり易く掲載されています。歴史背景などを知ることによって、ロシアによる侵攻や周辺諸国の状況が、現状分析だけでは伝わらないものがあると思いました。また“日本のような遠く離れた地域のものにとっては、当事者意識が減退しているのではないか。”というような文章があります。今なお続いている戦争について目を背けず、正しい知識を得、自分の頭で考えることはやめてはいけなと気づかされる一冊でした。(大原)



## 『サクサク、サクラチル』

辻堂ゆめ【著】 双葉社 2023/07



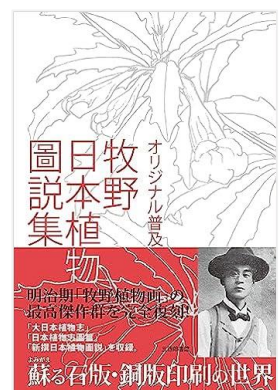
表紙のポップな感じから、受験生の青春小説かな？と思いきや、主人公たちのあまりの環境に、こんな親、ホントにいる？となりました。でも、そういえばこんなノンフィクションを最近読んでいました。本当にいるんだよナ…  
主人公は親から東大合格を望まれている高校三年生。成績が悪ければ叱責を受け、夕飯抜き。そして、暴力。小さい頃からのその環境がおかしい事に気付くことなく、精神的に追い詰められながら日々を過ごしています。そんな中、親に依存され、育児放棄されているクラスメイトに、それが虐待である事を指摘されます。「虐待」という共通点を持つ二人は親に復讐の計画を立てます。どんな復讐なのか？「誰かのため」というのは本当に「誰か」のためなのでしょうか？(矢田)

## 『オリジナル普及版 牧野日本植物図説集』

牧野富太郎【著】 三四郎書館 2023/08

本書は植物学者牧野富太郎が石版印刷、銅版印刷によって描き出した植物画の最高傑作群 194 図版を収録したものです。

NHK で 9 月まで放送されていた「らんまん」は牧野富太郎の生涯をえがいたドラマでした。刷り上がった版画をまるで洗濯物の様に部屋中に吊るして乾燥させている場面がよく出てきました。妻の寿衛子が「ヤマザクラ」の版画の下に仰向け寝転んで「絶景かな！絶景かな！」と石川五右衛門のセリフを言うシーンが印象に残っていますが、この時の「ヤマザクラ」の植物画も収録されています。牧野博士が国内で初めて発見した「ムジナモ」の超精密な植物画も入っています。興味のある方はぜひ。(大塚)



新着ピックアップは毎月、司書が「これはぜひ読んで！」と思う本を選びすぐってお届けします。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。





他人の読んでいる本が気に入るようになってきた

## 藤崎一臣の本、読んでいこう！ vol.69

『変な絵』 雨穴【著】

10月の  
開館予定

毎年、F 1 日本 G P が開催されると、「ああ～秋が来たな」と感じます。

昨年は悪天候の中で F 1 日本 G P が開催されましたが、今年は天候にも恵まれファンにとって最高の週末だったのではないのでしょうか。

鈴鹿市民として 3 5 年。そんな私も、生まれて初めて F 1 を生観戦してきました＼(^o^)/

You tube など映像を通して F 1 のレースを観る機会はありましたが、やはり生で観ると迫力が半端ないですね。会場の雰囲気も最高でしたが、F 1 マシンの音やスピードに圧倒されました。カッコイイ。最高です。また来年も観に行けたらな。てくらい魅了されました(#^\_^#) なんか、来年の F 1 日本 GP は 4 月開催になるようですね。春の訪れを桜と F 1 で感じるのも、それもまた良きですね♪

話しが逸れてしまいました。戻します。

一度はミステリー小説を拒絶した私ですが、雨穴さんの『変な家』でミステリー小説の嫌なイメージが払拭され、今回再び雨穴さんの作品をおかわりすることとなりました。『変な絵』これもまたミステリー小説です。

以前紹介した『変な家』は「家の間取り」がナゾを解く鍵となりましたが、『変な絵』はタイトルのとおり「絵」がキーとなります。『変な家』は短編でしたが、『変な絵』は長編小説になります。

もうね、複線回収が半端なかったです。登場人物のフルネームをしっかりと覚えて読み進めるべきです。

私は、計 3 日に分けて読了する形になりましたが、日を分けると私の記憶力の問題もありますが、登場人物の名前が曖昧になってしまい…

あれ、この人って前の章で登場してたよな？(\*\_\*; なんてことになり、前の章を確認するはめに…。

本当に情けない…orz こんなことにならない人は、日を分けても構いませんが、

私のような人は一気読みをオススメします。

絵を描いたほとんどの人が既にこの世を去っている。

生前に描き残した「絵」に込められたメッセージが最終的にある人物へと繋がっていく。

どうしてもバッドエンドで終わるイメージの強いミステリー小説ですが、本書は因果応報な終わり方なので、個人的には好きな終わり方でした。最終的に正義は勝つ！ってやつです。

さあ、いよいよ秋本番！

みなさんも「○○の秋」楽しもうぜ！！



『変な絵』 雨穴【著】 双葉社

10月	
1 日	休館
2 月	8:10-17:50
3 火	8:10-17:50
4 水	8:10-17:50
5 木	8:10-17:50
6 金	8:10-17:50
7 土	休館
8 日	休館
9 月	休館
10 火	8:10-18:50
11 水	8:10-18:50
12 木	8:10-18:50
13 金	8:10-18:50
14 土	休館
15 日	休館
16 月	8:10-18:50
17 火	8:10-18:50
18 水	8:10-18:50
19 木	8:10-18:50
20 金	8:10-18:50
21 土	休館
22 日	休館
23 月	8:10-17:50
24 火	8:10-17:50
25 水	8:10-17:50
26 木	8:10-17:50
27 金	8:10-17:50
28 土	休館
29 日	休館
30 月	8:10-17:50
31 火	休館/館内整理



### 第 50 回 長島健太郎先生おすすめ

『世界の中心で愛を叫ぶ』 片山恭一／著

私が皆さんにお薦めする一冊は「世界の中心で愛を叫ぶ」です。私の高校生活はサッカーばかりで恋愛とは無縁。そのおかげか、恋愛小説の衝撃は強かったことを覚えています。単純に羨ましかったのかもしれませんが…。あらすじは、主人公が亡くなった恋人との思い出を振り返るというものです。読み終わったときの何とも言えない感情を共有できる人がいたら教えて下さい。

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンはどこに渡るかな？

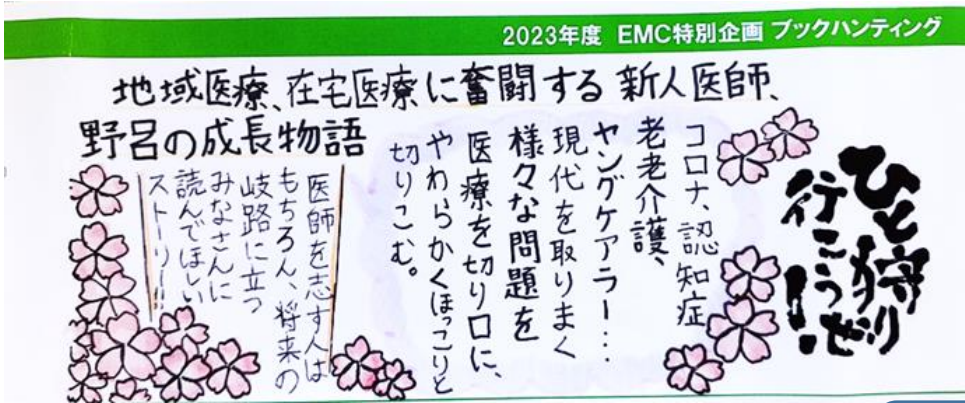


# BOOK



# HUNTHING

今回の特集は8月におこなわれた「BOOK HUNTHING」で、参加者15名が狩って（買って？）帯を付けてもらった本をご紹介します！！帯は直筆の、かわいい絵あり、実体験からの感想あり、読みたくなるコメントありと力作ぞろい。バラエティーあふれるランナップになっています。一体この本はどの参加者が狩ったモノなのか?!全123冊を見に来てください。（参加者の皆さんご協力ありがとうございました。）



『いのちの十字路』  
南杏子・著  
幻冬舎

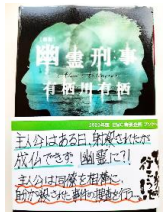
6年制2年Kさん作



えっ！主人公幽霊？  
どうなる？



桜の花の色付イラスト  
が物語のやさしさを伝  
えてくれます。



『幽霊刑事』  
有栖川有栖・著  
文藝春秋

6年制2年Tさん作



## 同時開催



「読書の秋」がやってきました！「おこれ！」「なけ！」「わらえ！」、本を読んで、ツポにはまってみませんか？



### 図書館からのお知らせ

●10/10～10/20 閉館時間が **18:50** になります。グループ学習室も混みあいますのでの予約はお早目に・・・（予約は一週間前からできます）

**編集後記** やっと猛暑に終わりがみえ、クーラーの出番が少なくなりました。長かった… 朝晩だいぶん涼しくなり食欲も復活！短い秋においしいものをしっかり食べたいと思います。（矢田）



冬が来るのはなるべく遅い方が良いでしょうねえ…